

学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表

学士教育プログラム名称	
生涯教育	学士教育プログラム

	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身につけ、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語(日本語と外国語)とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身につけ、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	1. 学校内外において、子どもと子どもを取り巻く人々が、育ち合い・交流し合える場(コミュニティ)の形成や活動を支援できる	○	○		○		○	○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 子どもと子どもを取り巻く人々が、育ち合い・交流し合える場(コミュニティ)を形成したり、このような活動を支援する力量は上記のような力に基盤を置く。								
	2. 地域の実情を把握し、課題の発見・解決を図っていく実践力を有し、地域づくりの中心を担える		○	○	○		○	○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 地域の実情を把握し、課題の発見・解決を図るために、上記の力が必要である。								
	3. 正しい自然観を持ち、学校教育の枠を超えて豊かな自然環境と共生する地域社会を支える			○		○	○	○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 正しい自然観を持ち、学校教育の枠を超えて豊かな自然環境と共生する地域社会を支えるためには、このような素養が必要である。								
	4. 健康・栄養・スポーツを総合的に探究する科目を通じて地域社会に貢献できる	○	○		○		○	○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 健康・栄養・スポーツを総合的に探究する科目を通じて地域社会に貢献するためには、上記素養が基礎になる。								
5. 懐深い人間理解の視点をもち、こころを保全するための臨床知を修得した人材	○	○		○		○	○		
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 懐深い人間理解の視点をもち、こころを保全するための臨床知を修得した人材とは、上記の力を蓄えたものである。									
A). 学校内外にまたがる教育課題(幼児・児童教育や社会教育)を支援する能力。 B). 地域の社会連携様態・自然環境特性・生活習慣・対人関係のいずれかに重点において、課題発見と問題解決・支援を図っていく実践力。		○	○	○		○	○		
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 学校内外にまたがる教育課題(幼児・児童教育や社会教育)を支援する能力や地域の社会連携様態・自然環境特性・生活習慣・対人関係のいずれかに重点を置いて、課題発見と問題解決・支援を図っていく実践力は、上記の素地の上に立つ。									